

2022年8月31日

報道関係各位

岡山芸術交流実行委員会

9月30日開幕。街歩きしながらアートが楽しめる国際現代美術展「岡山芸術交流 2022」

## 参加作家 全 28 組（13 カ国）決定。作品展示計画概要固まる。

新たに3組（地元の老舗ライブハウス「PEPPERLAND」、ファッションブランド「OVERCOAT」、備前焼の伊勢崎州らのグループ）が参加。

岡山芸術交流実行委員会（会長：大森雅夫 岡山市長、事務局所在地：岡山県岡山市）は、岡山市の中心部、岡山城・岡山後楽園周辺エリアで開催する「岡山芸術交流 2022 Do we dream under the same sky」（2022年9月30日（金）～11月27日（日）までの51日間）について、新たに3組の作家を加え最終の参加作家を28組（13カ国）で決定するとともに、作品展示計画の概要を固めましたので、お知らせします。

今回新たに参加決定したのは、地元の老舗ライブハウス「PEPPERLAND」、ファッションブランド「OVERCOAT」、備前焼の伊勢崎州らのグループの3組です。これにより、全参加作家は、アーティストックディレクター、リクリット・ティラヴァーニャ氏が選定した22組（本人除く）のアーティストを軸に、氏以外の視点も取り入れた有機的な展覧会を目指して加えた、イベント2組、グループ2組、パフォーマンス1組の全28組となりました。

作品は、今回新たに会場となる岡山天満屋、岡山後楽園を含み、岡山城を中心とした徒歩圏にある10会場に60点超を展示します。

岡山県天神山文化プラザに、22組のアーティストの作品を展示するインデックス展示をはじめ、リニューアル工事中の岡山城に、池田亮司による「人間と宇宙の融合」をコンセプトとした映像を、巨大なLEDスクリーンで展開するなど、街歩きしながらアートを楽しんで頂けるよう構成しています。

メイン会場である旧内山下小学校は、校庭を無料ゾーンとするとともに、教室や体育館等で参加性のある展示展開を行い、本展の中心となるコミュニティゾーンと位置づけています。

校庭では、本展として初めてクラウドファンディングを活用したリクリット・ティラヴァーニャの芝生のアート作品を展開します。また体育館には、金沢21世紀美術館のコレクションとしても知られる曾根裕のユニークな滑り台の彫刻作品「アミューズメント・ロマーナ」と、大理石のステージで実際に演奏もできるリクリット・ティラヴァーニャの「Untitled 2017 (Oil Drum Stage)」という参加型の作品を設置。日本初公開となる「Untitled 2017 (Oil Drum Stage)」は、曾根裕、大和田俊らが本展のために結成したUntitled band(Shun Owada and friends)や、写真家であり音楽評論家でもある能勢伊勢雄氏が主宰するライブハウス「PEPPERLAND」のコーディネートにより、会期中、140組を超えるバンド等が連日多様なパフォーマンスを展開します。



旧内山下小学校校庭 芝生のアート作品イメージ



旧内山下小学校 体育館 オイルドラムステージ



旧内山下小学校 体育館 曾根裕の作品



岡山城 池田亮司の映像作品 ※16~21時

#### [クレジット]

左上) tiravanijaoffice

右上) Rirkrit Tiravanija, Untitled 2017 (Oil Drum Stage) / Tommy Simoens, Antwerp / Jonas Lampens

左下) Yutaka Sone, Amusement Romana, 2002 / wood, paint, FRP [H400×W1650×D1025cm] /

Collection: 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa / Photo: KIOKU Keizo

右下) Ryoji Ikeda, data.flux [LED version] audiovisual installation, 2021 / ©ALTERNATIVE KYOTO 2021

Imagination as a Form of "Capital"

併行して今回は、これまで以上に、地元や子どもたちにアートに触れて頂きたいとの思いから、パブリックプログラムにも注力しています。開幕日の午後に約10名のアーティストが登壇する「アーティストトーク」を実施するのをはじめ、小学生がナビゲーターを務める「子どもナビと楽しむアートツアー」や、学生グループが研修を受け本展を独自取材して作成する壁新聞を商店街に掲示する「ジャーナルプロジェクト」など、多彩なプログラムを展開します。なお、その内の1つである「一般公募企画」から、近日、新たな実施事業が決定する予定です。(6企画。確定次第、改めてご案内いたします。)

全参加作家一覧等は以下の通りです。新参加作家プロフィールは別添資料をご参照ください。

## 1. 全参加作家一覧

### ●アーティスト 23 組

	アーティスト名 (日/英)	出生地 (活動国)
1	リクリット・ティラヴァーニャ/Rirkrit Tiravanija *	タイ
2	ラゼル・アハメド/Rasel Ahmed	アメリカ
3	アート・レーバーとジャライ族のアーティストたち/Art Labor in collaboration with Jrai artists	—
4	王兵 (ワン・ビン) /Wang Bing	中国
5	ダニエル・ボイド/Daniel Boyd	オーストラリア
6	リジア・クラーク/Lygia Clark	ブラジル
7	アブラハム・クルズヴィエイガス/Abraham Cruzvillegas	メキシコ
8	円空/ENKU	日本
9	池田亮司/Ryoji Ikeda	日本
10	片山真理/Mari Katayama	日本
11	ミー・リン・ル/My-Linh Le	アメリカ
12	デヴィッド・メダラ/David Medalla	フィリピン
13	アジフ・ミアン/Asif Mian	アメリカ
14	プレシャス・オコヨモン/Precious Okoyomon	イギリス
15	フリーダ・オルパボ/Frida Orupabo	ノルウェー
16	ヴァンディー・ラッタナ/Vandy Rattana	カンボジア
17	バルバラ・サンチェス・カネ/Bárbara Sánchez-Kane	メキシコ
18	笹本晃/Aki Sasamoto	日本
19	ジャコルビー・サッターホワイト/Jacolby Satterwhite	アメリカ
20	島袋道浩/Shimabuku	日本
21	曾根 裕/Yutaka Sone	日本
22	アピチャッポン・ウィーラセタクン/Apichatpong Weerasethakul	タイ
23	梁慧圭 (ヤン・ヘギュ) /Haegue Yang	韓国

\*リクリット・ティラヴァーニャは本展のアーティストティックディレクターです。

### ●イベント 2 組

24	【新】ペパーランド/PEPPERLAND	日本
25	ゲルト・ロビンス/Gert Robijns	ベルギー

### ●グループ 2 組

26	【新】オーバーコート/OVERCOAT	—
27	【新】伊勢崎州 (備前焼)・スミス 一三省吾・木口 ディアンドレ (鳥城彫) / Shu Isezaki (Bizen)・Smith Ethan Shogo・De'Andre Kiguchi (Ujo Bori)	—

### ●パフォーマンス 1 組

28	Untitled Band (Shun Owada and friends)	—
----	--	---

## 2. 展示構成概要

会場	アーティスト/作家	作品例
旧内山下小学校	リクリット・ティラヴァーニャ ダニエル・ポイド ミー・リン・ル アジフ・ミアン プレシヤス・オコヨモン バルバラ・サンチェス・カネ 笹本晃 島袋道浩 曾根裕 アピチャッポン・ウィーラセタクン 片山真理 ヴァンディー・ラッタナ 【イベント】※ ペパーランド ゲルト・ロビンス 【グループ】※ オーバーコート 伊勢崎州（備前焼）・スミス 一三省吾・木口 ディア ンドレ（烏城彫） 【パフォーマンス】※ Untitled Band (Shun Owada and friends)	・インスタレーション作品 ・パフォーマンス作品 ・彫刻作品 ・ペインティング作品 など約25点
岡山県天神山文化プラザ	ラゼル・アハメド アート・レーバーとジャライ族のアーティストたち 王兵（ワン・ビン） ダニエル・ポイド リジア・クラーク アブラハム・クルズヴィエイガス 円空 池田亮司 片山真理 ミー・リン・ル デヴィッド・メダラ アジフ・ミアン プレシヤス・オコヨモン フリーダ・オルパゴ ヴァンディー・ラッタナ バルバラ・サンチェス・カネ	・index展 ・インスタレーション作品 など約25点

	笹本晃 ジャコルビー・サッターホワイト 島袋道浩 曾根裕 アピチャッポン・ウィーラセタクン 梁慧圭 (ヤン・ヘギユ)	
岡山市立オリエント美術館	ラゼル・アハメド リジア・クラーク 円空 フリーダ・オルパボ 梁慧圭 (ヤン・ヘギユ)	・インスタレーション作品 ・彫刻作品 など5点
シネマ・クレール丸の内	王兵 (ワン・ビン) アピチャッポン・ウィーラセタクン	・映像作品 2点
林原美術館	デヴィット・メダラ 王兵 (ワン・ビン) アート・レーバーとジャライ族のアーティストたち	・インスタレーション作品 など3点
岡山後楽園	デヴィット・メダラ	・立体作品 ・平面作品 など約5点
岡山神社	梁慧圭 (ヤン・ヘギユ) ミー・リン・ル アブラハム・クルズヴィエイガス	・インスタレーション作品 など3点
石山公園	梁慧圭 (ヤン・ヘギユ)	・立体作品 など
岡山城	池田亮司	・映像作品
岡山天満屋	片山真理	・写真作品

注) 岡山芸術交流 2022 では、※印を「作家」と表記・呼称し、※印以外＝アーティストックディレクター選定による「アーティスト」と区分して表記・呼称しております。

開幕日および前日に、内覧会、記者説明会、オープニングセレモニー等を開催いたします

【参加登録フォーム】 <https://forms.gle/sMFtxHiZmuiLBBNH8>

詳しくは、別添「取材のご案内」をご参照願います。

■本件に関するお問い合わせ先

岡山芸術交流実行委員会 事務局 広報担当：宍戸、安東

TEL. 086-221-0033 FAX. 086-221-0031

MAIL. [press@okayamaartsummit.jp](mailto:press@okayamaartsummit.jp)